

【原子力科学技術分野研究開発プラン／原子力科学技術研究開発プログラム】

原子力科学技術委員会

○「重点的に推進すべき取組」と「該当する研究開発課題」

プログラム達成状況の評価のための指標

○アウトプット指標：原子力分野における査読付き論文の公開数、研究成果報道等発表件数（プログラム2-1・2-2共通）

○アウトカム指標：除染、廃炉、廃止措置に資する研究の推進に関する取組の進捗状況、福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上のための研究開発の進捗状況、獨創性・革新性の高い科学的意義を有する研究成果の創出状況（プログラム2-1）
放射性廃棄物減容化研究開発等の進捗状況、原子力施設に関する新規規制基準・安全確保対策等の取組の進捗状況、丁寧な対話活動等を通じた社会の理解度の状況（プログラム2-2）

中：中間評価

2016 (FY28)	2017 (FY29)	2018 (FY30)	2019 (FY31)	2020 (FY2)	2021 (FY3)	2022 (FY4)	2023 (FY5)	2024 (FY6)	2025 (FY7)	2026 (FY8)
プログラム2-1										
原子力システム研究開発事業										
革新的原子力システム（原子炉、再処理、燃料加工）の実現に向け、競争的研究資金制度により提案型公募事業を実施										
		中					中			
英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業										
<ul style="list-style-type: none"> ・文科省委託事業 <ul style="list-style-type: none"> －廃止措置研究人材育成等強化プログラム 国際廃炉研究開発機構（IRID）等と連携し、廃炉に貢献する人材を育成・確保 －原子力基礎基盤戦略研究プログラム 廃炉の加速等に貢献する国際共同基盤研究及び原子力の安全性向上や新たな原子力利用による課題解決に貢献する基礎研究を推進 ・JAEA補助金事業（H30～） <ul style="list-style-type: none"> －廃炉研究等推進事業費補助金によるプログラム 原子力損害賠償・廃炉等支援機構が取りまとめた戦略プラン等に基づき、廃炉現場のニーズを一層踏まえた国内外の研究機関等との研究開発・人材育成の取組をJAEA廃炉国際共同研究センターを中核として推進 										
プログラム2-2										
国際原子力人材育成イニシアティブ										
産学官連携による人材育成体制の構築、人材育成のための原子力施設・設備の共同利用の促進										
				中					中	
核不拡散・核セキュリティ関連業務										
国際的な核不拡散・核セキュリティの向上のため、国際協力の下、アジア地域を中心とした人材育成及び核物質の測定・検知・鑑識技術開発を実施										
				中					中	

多様な原子力システムに関し、基礎的研究から工学的検証に至る領域における革新的な技術の確立

福島第一原子力発電所の廃炉等を始めた原子力分野の課題解決

福島第一原子力発電所の廃炉等を始めた原子力分野の課題解決に資する人材の確保

企業や国際社会から求められる人材像をより適確に把握し、効果的・効率的・戦略的な原子力人材の確保

国際的な核不拡散・核セキュリティ強化

原子力の基礎基盤研究

原子力科学技術分野における人材育成

核不拡散・核セキュリティに資する技術開発等